

# 飛行船



宿泊学習や体育祭、文化祭と、みなさんは行事の度にかげがえのない何かを積み上げていくことでしょう。そして、それらは決して、カタチあるものだけではなく、無意識の内に身につけているのかもしれない。

## くらすの『カタチ』

さて、合唱コンクールを通して、みなさんはまた一段、人生の石段を積み上げたのではないのでしょうか。共に、共通の目標に向かい切磋琢磨し、創り上げたものもまた、形あるものだけではありません。みんなで奏でたハーモニーは様々なカタチがありました。力強く他の表情を、心を、未来を明るく照らしてくれる太陽がありました。誰かを想い、何かを想う、それぞれが向ける想いは違って、それらを優しく包み込んでくれる柔らかい抱擁がありました。駆けても駆けても尽きることはなく、どこまでもどこまでも翔ることのできる、あの若き日の翼がありました。もちろん、受け取り方は人それぞれかもしれませんが、そこには確かに、くらすの『カタチ』があったはずです。



[3組]

## だから、おもしろい

声が違う。体の大きさが違う。性格が違う。みんなが違うから、他にない一つのカタチが生まれます。課題曲がそれを顕著に表していたと思います。どのクラスも、単に、声の大きさや音程の善し悪しといった、目の荒い尺で測ることはできませんでした。大切にしたい詞の重みを受け、強弱やロングトーンが自然と表れる、みなさんの想いが合わさりあい、もっと大きなカタチが生まれた瞬間だったと思います。そんなカタチを個性と呼ぶのでしょうか。

## 戦いの末に

聴衆を魅きこむ合唱の裏側には、どのクラスも、数日間のドラマがあったのではないのでしょうか。パート内や男女間の議論が毎日のように繰り広げられ、時にはクラスに、一本の亀裂が走ることもありました。ですが、そんなみんなの想いはどれも、一段を積み上げると同じ目的の元の布石。ぶつかり合ってきたカタチは、隙間なく、強固なものになりました。そんなカタチを、仲間との絆と呼ぶのでしょうか。



[2組]

## 本気の特権

さらけ出して、ぶつかって、真剣な想いを伝えるからこそ、認め合い、尊重し合うことができるのではないのでしょうか。個性があるから、お互いを求め合い、補い合って、立っているのではないのでしょうか。

合唱コンクールを通して、クラスメートや家族、大切な人の心の中に、あなたという一つのカタチを刻んだことでしょうか。そして、あなたの心の中には、他にないあなただけの「カタチ」が残っていることでしょうか。合唱コンクールに本気で取り組んだからこそ得られたものを、これからの人生の財産にしてほしいと願っています。



**最優秀賞 1組**



**優秀賞 4組**